

ママパパ ひるば

⑰

「育児ってうまくできるかな」

そんな大学生の不安を解消しようと、学生が子育て家庭に出向き、育児体験する「一日パパ・ママ体験」事業の報告会が3月8日午後1時から、JR神戸駅前の神戸クリスタルタワーで開かれます。育児が身近になったという学生らの生の声を聞いてもらえたらと思います。

この事業は兵庫県と神戸新聞子育てクラブ「すきっぷ」が主催し、2年目になります。学生は2人一組になり、決められた家庭に行きます。持参したおもちゃで遊び、抱っこや食事の世話をするなど、数時間から半日、乳幼児と過ごします。今回は県内7大学から約70人が参加しました。

育児 一日体験 楽しさ実感



子育て中の家庭で「一日パパ・ママ体験」に取り組む学生と親子＝神戸市内

驚くのは学生の意識の変化です。参加者アンケートでは、活動前には65%が「育児に不安がある」と回答していましたが、活動後は80%が「不安が軽減した」「結婚のイメージが良くなった」と答えました。理

由として「子育ての大変さだけでなく、楽しさも感じた」「仕事との両立がイメージできた」との声が目立ち、結婚や育児を考える良いきっかけになったようです。

報告会はこのような体験発表に続き、学生や大学教授、子育て支援団体が「私たちの結婚観、子育て観」をテーマにパネル討論。学生らによる親子遊びのワークショップ(午後1～2時)もあります。入場無料。すきっぷ事務局☎078・362・7079

(パートナーセンター 篠原佳也)

神戸新聞子育てクラブ

すきっぷ



◆上のQRコードを読み取ると、「すきっぷ」のサイトにアクセスできます。